



## いじめ防止に 温かい環境づくりを

副校長 田中 亮太

4月からの学校生活にも慣れ、運動会を経て、子供たちは様々な学びを積み重ねています。特に学級編成替えから始まった新たなクラスのつながりは、日々深まってきました。新しい取組にチャレンジしてみたり、遠足や校外学習で多くの友達と協力したりする姿が見られます。朝や帰りの元気な挨拶も増え、明るい声が朝から校内に響いていて、多くの笑顔が輝いています。

逆に慣れ親しんできて周りが見え始めたことで、嫌な思いをしたりケンカになったりというようなトラブルが増えてくるのもこの時期です。東京都では、毎年6月と11月をふれあい（いじめ防止強化）月間として、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子供たちの健全育成を目指した取組を行っています。渋谷区では、これと合わせて「いじめアンケート（年4回、全学年対象）」と「学校生活アンケート（年6回、小4～中3対象）」を実施しています。教育用ダッシュボードでその回答を確認できるので、本校でも各教員が児童の思いを把握しつつ、軽微ないじめでも早期発見・早期対応できるようにしています。

また、西原小では、委員会やクラブ、たてわり班、剣玉の交流などの特色ある活動を行っています。これは、いじめの未然防止の取組としても効果的な面があり、合意形成や自己決定ができる活動や思いやりや友情をテーマとした授業を通して、温かい校内環境を育むことを目指しています。先日も代表委員会の児童が剣玉集会を体育館で行い、1年生は現地で参加、2～6年生は各教室からオンライン参加をして、剣玉を通じた交流活動を楽しみました。



集団生活の中では、大人でも子供でも、大なり小なりのトラブルが起こりえます。また、SNS関連のトラブルなども考えられます。そんなとき私たち大人に大切なのは、「いじめ」に対して毅然とした態度を示しつつ、子供たちの心に寄り添いながら、よりよい解決の糸口を示すことではないでしょうか。「相互理解」「歩み寄り」といった温かい解決方法を、子供たちが身に付けられるようにしていくためには周囲の大人に何ができるのか。今後も考え続けていかななくてはなりません。

こうしたいじめ防止の取組は、学校と家庭、地域が一体となって取り組むことが肝要です。学校での友達や教職員との生活、家庭でのご家族との時間、地域の方々との子供たちの関わりの全てが子供たちを成長させる環境となります。ますます「西原っ子」たちが輝くよう、温かい環境づくりに一緒に取り組んでいきましょう！

7月の目標

## 【生活目標】

身の回りの整理・整とんをしよう

## 【保健目標】

夏を健康に過ごそう

## 【給食・食生活】

残さず食べて

暑さに負けない体をつくろう

国際交流会 7月6日(土)

西原小では毎年、国際交流会を7月に実施しています。外国の方と交流する機会を通して、児童の国際交流への意識を高めることをねらいとしています。今年度は JICA に加え、渋谷区内の EF International Language School と連携し、多くのゲストと学べるよう調整しています。

当日は、プログラムの都合上、公開日とすることができません。大変残念ですが、どんな交流ができたのか、ぜひお子さんの話を聞いてください。

